

米子工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	ベーシックイングリッシュ	
科目基礎情報							
科目番号	0074		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	機械工学科		対象学年	4			
開設期	通年		週時間数	1			
教科書/教材	『TOEIC L&R TEST リーディング&ヴォキャブラリー徹底演習』三修社／配布プリント						
担当教員	赤山 幸太郎,鈴木 章子						
到達目標							
1. TOEICに頻出する重要語彙を習得する。 2. 基本的な英文法項目をマスターしたうえで、TOEICの文法・語法問題に適切に解答できる。 3. ある程度の長さの英文を速読したうえで、正確に理解し、TOEICのリーディング問題に適切に解答できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
1.TOEICに必要な語彙力・文法力を身につける。		TOEICに必要な重要語彙・英文法を習得し、文法・語法問題にほぼ適切に解答することができる。	TOEICに必要な重要語彙・英文法を習得し、文法・語法問題にある程度、適切に解答することができる。		TOEICに必要な重要語彙・英文法の習得が不十分で、文法・語法問題に適切に解答することができない。		
2.TOEICに必要な読解力を身につける。		TOEICに必要な速読力を身につけ、読解問題にほぼ適切に解答することができる。	TOEICに必要な読解力を身につけ、読解問題にある程度、適切に解答することができる。		TOEICに必要な読解力が不十分で、読解問題に適切に解答することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 E-1							
教育方法等							
概要	本講義では、TOEICに必要な基本的な語彙力、文法力、読解力の習得に主眼をおく。同時に、サイト・トランスレーションを課題として取り入れることで、速読力だけでなく聴解力も養成することを目指す。						
授業の進め方・方法	本授業では、TOEICの解説（語彙、文法、英文読解問題の出題パターン）を行った後、練習問題を演習形式で解いてもらう。補足プリントによる、追加演習も行う。また、課題を通して、サイト・トランスレーションの練習を行い、速読力および聴解力を身につけていく。						
注意点	積極的に授業に参加すること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス（授業の進め方） サイト・トランスレーションの導入		サイト・トランスレーションのやり方を習得し、速読およびリスニングへの適用方法を学ぶ。		
		2週	リスニングのメカニズム		聞き取りの際の注意事項を確認し、ある程度の速さのリスニングに対応する方法を学ぶ。		
		3週	Unit 1：「品詞」「ビジネスレター」		1.TOEICに頻出する重要語彙を習得する。 2.TOEICに頻出する基本的な文法事項を学習する。 3.TOEICに頻出する基本的な読解問題のパターンを学び、速読の練習をする。		
		4週	Unit 2：「動詞の形 1」「告知文」		上記1.～3.		
		5週	Unit 3：「動詞の形 2」「広告文」		上記1.～3.		
		6週	Unit 4：「不定詞・動名詞」「記事・報告書」		上記1.～3.		
		7週	Unit 5：「使役動詞」「表・グラフ 1」		上記1.～3.		
		8週	前期中間試験		前期中間までに習った内容を理解する。		
	2ndQ	9週	Unit 6：「仮定法」「表・グラフ 2」		上記1.～3.		
		10週	Unit 7：「関係詞」「Double Passages 1」		上記1.～3.		
		11週	Unit 8：「比較」「Double Passages 2」		上記1.～3.		
		12週	Unit 9：「注意すべき副詞」「Double Passages 3」		上記1.～3.		
		13週	Unit 10：「前置詞」「Triple Passages 1」		上記1.～3.		
		14週	Unit 11：「接続詞」「Triple Passages 2」		上記1.～3.		
		15週	前期末試験		前期末までに習った内容を理解する。		
		16週	前期末試験の答案返却と回答		前期末試験問題について自らの課題を認識し修正できる。		
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					

	4thQ	8週		
		9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	課題提出					合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0